



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6625 URL <https://www.jalco-hd.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一
問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 櫻井 義郎 (TEL) 03-3274-5240
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,526	170.2	1,035	64.6	790	65.9	377	70.1	220	△70.0
2024年3月期第1四半期	935	12.0	629	0.1	476	△8.1	222	△26.9	733	293.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 182百万円(△75.0%) 2024年3月期第1四半期 731百万円(285.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.08	—
2024年3月期第1四半期	6.94	—

※EBITDAは営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加算し、匿名組合損益分配額を差引いて算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	76,209	17,425	22.9
2024年3月期	72,602	19,146	26.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,425百万円 2024年3月期 19,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,490	△41.2	4,207	△39.7	3,129	△50.8	1,438	△71.2	896	△78.4	8.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	112,604,118株	2024年3月期	112,604,118株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	6,848,260株	2024年3月期	6,848,260株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	105,755,858株	2024年3月期1Q	105,755,970株
------------	--------------	------------	--------------

発行済株式数に関する注記

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、前連結会計年度にアミューズメント施設9物件の賃貸用不動産を取得したことや、当第1四半期連結累計期間においてアミューズメント施設3物件の賃貸用不動産の取得及び商業施設1物件の販売用不動産の売却等に加えて、前連結会計年度に大型アミューズメント施設を保有する株式会社エイコスを連結子会社としたことが寄与し、売上高25億26百万円（前年同期比170.2%増）、EBITDA10億35百万円（前年同期比64.6%増）、営業利益7億90百万円（前年同期比65.9%増）、経常利益3億77百万円（前年同期比70.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億20百万円（前年同期比70.0%減）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(貸金事業)

当事業部門におきましては、収益性及び担保価値等を十二分に吟味し、回収可能性等を慎重に検討した上で取り組んでおります。貸付期間については、1年以内の短期の貸付を中心に行っているため、期中における貸付金の返済に伴い営業貸付金が大きく減少することがあります。

当第1四半期連結累計期間において営業貸付金は、新規貸付4億20百万円、回収11億99百万円により39億49百万円（前期末比16.5%減）となりました。当事業部門における売上高は79百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は40百万円（前年同期比16.3%減）という結果となりました。

第2四半期以降におきましても、収益性及び担保価値等が十二分に見込める貸付先の資金需要も旺盛であることから、営業貸付金残高を積み増していく所存でございます。

(不動産事業)

当事業部門におきましては、当第1四半期連結累計期間において、販売用不動産として保有していた商業施設の売却に加えて、前連結会計年度に取得した賃貸用不動産9物件及び当第1四半期連結累計期間に取得した賃貸用不動産3物件、更に前連結会計年度に賃貸用大型アミューズメント施設を保有する株式会社エイコスを連結子会社としたこと等が寄与し、当第1四半期連結累計期間において、売上高は24億41百万円（前年同期比192.1%増）となりました。また、減価償却費等の賃貸不動産原価が増加はしたものの、セグメント利益は3億47百万円（前年同期比107.1%増）となりました。

当社としては引き続き、長期・安定的な収益貢献が見込める案件については積極的に購入し、収益に寄与する資産残高を積み増してまいります。

そのほか、現在、売上高及び利益の増加に繋がる物流施設用不動産等の開発案件や今後の収益の増加に繋がる営業活動も行っております。

(M&Aコンサルティング事業)

当事業部門におきましては、これまでの不動産オフバランスニーズへの単独対応に加え、不動産と営業権の両方の売却を希望するアミューズメント企業のニーズの増加もある中で、当社グループは買い手として不動産オーナーという形でリスクを取り、売り手にコミットする形でM&A案件を組成、仲介するという新しい形態のM&Aコンサルティング事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては収益物件の取得に注力したこともあり、当該事業における売上高の計上はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して2億70百万円増加し、235億12百万円となりました。これは主に、販売用不動産が28億94百万円、仕掛販売用不動産が3億65百万円、未収消費税等が1億8百万円増加した一方で、短期貸付金が11億円、現金及び預金が9億79百万円、営業貸付金が7億79百万円、受取手形が1億84百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して33億35百万円増加し、526億96百万円となりました。これは主に、アミューズメント施設3物件の追加取得により有形固定資産が52億86百万円、無形固定資産が15億81百万円増加した一方で、販売用不動産への振替により有形固定資産が40億40百万円減少したことなどによるものです。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して36億6百万円増加し762億9百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して39億64百万円増加し116億48百万円となりました。これは主に、短期借入金が20億93百万円、1年以内返済予定の長期借入金が20億9百万円、短期社債が8億円増加した一方で、未払法人税等が7億95百万円、未払消費税等が3億61百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して13億62百万円増加し471億35百万円となりました。これは主に、社債が10億円、長期預り保証金が3億33百万円増加したことなどによります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して53億27百万円増加し、587億83百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して17億20百万円減少し、174億25百万円となりました。これは主に、配当金の配当により利益剰余金が19億03百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益2億20百万円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月7日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,445,975	1,465,987
信託預金	131,051	129,020
受取手形	279,659	95,425
営業未収収益	78,355	105,036
営業未収入金	178,718	167,083
営業貸付金	4,728,996	3,949,801
短期貸付金	1,100,000	—
販売用不動産	10,828,337	13,723,013
仕掛販売用不動産	3,211,592	3,577,067
未収収益	51,704	434
未収入金	2,141	579
未収消費税等	140,822	248,889
その他	64,256	49,996
流動資産合計	23,241,612	23,512,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,866,901	15,064,969
工具、器具及び備品（純額）	5,375	4,875
土地	25,749,135	27,910,526
信託土地	5,987,924	5,987,924
有形固定資産合計	45,609,336	48,968,295
無形固定資産		
のれん	1,444,092	1,425,965
特許権	73,725	70,197
借地権	4,252	4,252
ソフトウェア	41,898	38,753
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	1,564,253	1,539,453
投資その他の資産		
投資有価証券	663,591	620,911
長期貸付金	409,500	408,500
破産更生債権等	323,990	323,990
長期未収入金	363,853	371,492
差入保証金	166,608	166,483
長期前払費用	360,083	369,828
繰延税金資産	29,527	38,545
その他	332,805	359,605
貸倒引当金	△462,784	△470,423
投資その他の資産合計	2,187,176	2,188,933
固定資産合計	49,360,766	52,696,682
資産合計	72,602,378	76,209,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期社債	—	800,000
短期借入金	1,277,500	3,371,000
1年内返済予定の長期借入金	3,188,775	5,198,677
未払金	176,758	339,173
未払法人税等	952,634	156,890
未払消費税等	371,900	10,415
前受金	414,247	311,184
信託前受金	21,932	21,932
預り金	139,142	282,174
匿名組合預り金	1,140,499	1,156,645
流動負債合計	7,683,390	11,648,094
固定負債		
社債	—	1,000,000
長期借入金	40,757,253	40,801,102
長期預り保証金	2,373,522	2,707,206
信託預り保証金	40,000	40,000
資産除去債務	27,575	27,616
繰延税金負債	2,573,870	2,559,124
固定負債合計	45,772,221	47,135,050
負債合計	53,455,612	58,783,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,449,681	6,449,681
資本剰余金	7,612,921	7,612,921
利益剰余金	6,381,527	4,697,941
自己株式	△1,287,077	△1,287,077
株主資本合計	19,157,053	17,473,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,287	△47,595
その他の包括利益累計額合計	△10,287	△47,595
純資産合計	19,146,765	17,425,873
負債純資産合計	72,602,378	76,209,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	935,373	2,526,968
売上原価	276,050	1,525,620
売上総利益	659,322	1,001,348
販売費及び一般管理費	183,195	211,303
営業利益	476,126	790,044
営業外収益		
受取利息	17,472	11,437
受取配当金	4,767	1,394
為替差益	9,063	7,638
受取賃貸料	1,650	1,650
その他	163	229
営業外収益合計	33,116	22,349
営業外費用		
支払利息	269,116	376,217
社債利息	—	6,213
賃貸不動産経費	341	308
貸倒引当金繰入額	9,062	7,638
借入手数料	8,563	44,169
営業外費用合計	287,083	434,547
経常利益	222,160	377,846
特別利益		
固定資産売却益	776,296	—
投資有価証券売却益	4,741	—
解体費用引当金戻入額	88,000	—
特別利益合計	869,038	—
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	1,091,198	377,846
匿名組合損益分配額	26,087	16,145
税金等調整前四半期純利益	1,065,111	361,701
法人税、住民税及び事業税	279,614	165,444
法人税等調整額	51,653	△23,763
法人税等合計	331,268	141,680
四半期純利益	733,843	220,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	733,843	220,020

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	733,843	220,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,176	△37,307
その他の包括利益合計	△2,176	△37,307
四半期包括利益	731,667	182,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	731,667	182,712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

配当に関する事項

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年5月12日 取締役会	普通株式	利益剰余金	634,535	6.00	2023年3月31日	2023年6月12日

②基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

配当に関する事項

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年5月10日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,903,605	18.00	2024年3月31日	2024年6月10日

②基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(固定資産から販売用不動産への振替)

前第1四半期連結会計期間において、賃貸用不動産として保有していた有形固定資産のうち9,644,847千円を保有目的の変更により、販売用不動産に振替えております。

また、前第4四半期連結会計期間において、同じく賃貸用不動産のうち、4,930,464千円を販売用不動産に、1,808,592千円を仕掛販売用不動産に振り替えております。

加えて当第1四半期連結会計期間において、賃貸用不動産として取得した固定資産のうち、有形固定資産の土地及び建物2,458,993千円、無形固定資産の借地権1,581,853千円を保有目的の変更により、販売用不動産に振り替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 事業	M&Aコ ンサルテ ィング事 業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	93,669	835,940	—	929,610	5,763	935,373	—	935,373
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	93,669	835,940	—	929,610	5,763	935,373	—	935,373
セグメント利益 又は損失(△)	47,849	167,787	△39,358	176,277	645	176,923	45,237	222,160

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、知的財産関連事業、電子部品のブランド使用料並びに中古遊技機売買サイトに係るシステムの運営費であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額45,237千円は、内部取引消去額150,676千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105,439千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 事業	M&Aコ ンサルテ ィング事 業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	79,922	2,441,546	—	2,521,468	5,500	2,526,968	—	2,526,968
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	79,922	2,441,546	—	2,521,468	5,500	2,526,968	—	2,526,968
セグメント利益 又は損失(△)	40,039	347,449	△43,505	343,984	686	344,670	33,176	377,846

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、知的財産関連事業及び電子部品のブランド使用料並びに知的財産関連事業の減価償却費等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額33,176千円は、内部取引消去額181,919千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△148,742千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、各セグメント利益又は損失をより適切に表示させるために、セグメントへの按分比率を従来の売上高基準から人件費を基にしたコストドライバーによる按分比率に変更しております。

なお、前第1四半期連結会計期間におきましても、同比率を用いて算出したセグメント利益又は損失に組み替えております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びはのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	173,529千円	243,918千円
のれんの償却額	—	18,126